



杉並区立高井戸第四小学校

令和6年1月9日

ことばの教室だより

1月号



あけましておめでとうございます



令和6年（2024年）、新しい年が始まりました。今年も子供たちが安心して健やかに過ごせる日々が続くことを願っています。

さて、子供たちは、この冬休みをどのように過ごしたでしょうか？通級の際には、子供たちから冬休み中の思い出話を聞けることを楽しみにしています。3学期も寒い日が続き、体調を崩しやすい季節かと思われませんが、健康と安全に留意して、一人一人の学びが充実したものになるよう、努めていきたいと思えます。

本年も担当者一同、協力し合って子供たちの心と学びの成長を支えていきたいと思えます。本年もどうぞよろしくお申し込み申し上げます。



行事予定

1月



- 9日（火）高四小 始業式
都難言協ブロック研究会（午後）
- 9日（火）～16日（火）
個人面談期間
- 16日（火）都難言協役員研究会・準備研究会（午後）
- 17日（水）3学期個別指導開始
- 20日（土）高四小 土曜授業
- 30日（火）都難言協ブロック研究発表会（午後）

2月



- 3日（土）高四小 土曜授業
- 6日（火）専門家診断（午前）
都難言協ブロック研究会（午後）
- 13日（火）都難言協ブロック研究発表会（午後）
- 15日（木）区入級検討部会（午後）
- 20日（火）都難言協役員研究会（午後）
- 26日（月）専門家診断（午後）

3月



- 5日（火）都難言協ブロック研究会（午後）
- 6日（水）ことばの教室「おわりの会」
個別指導終了
- 12日（火）都難言協役員研究会・準備研究会（午後）
全難言協事業部会（午後）
- 14日（木）個別指導計画（報告書）発送
- 18日（月）区難言協定例研究会（午前）
- 22日（金）高四小 修了式
- 23日（土）高四小 卒業式



- ※予定は変更になる場合があります。
- ※「おわりの会」の詳細については、後日お知らせを配布いたします。
- ※この他、研究会などで出張することがあります。その際、個別に連絡をしますので、ご了承ください。
- ※**感染症等による学校閉鎖、学級閉鎖の場合は、通級できません。本人やご家族に発熱などの風邪症状がある場合は、担当者にご相談ください。**
- 感染拡大防止のため、ご協力をお願いいたします。

11月27日～12月1日 に 在籍学級担任向け授業公開を行いました

「在籍学級担任向け授業公開」では、お忙しいところお越しいただきありがとうございました。ことばの教室での通級児童の学習の様子を直に参観していただき、とても有意義な機会となりました。また担任の先生と情報共有させていただいたことを今後の個別指導に反映させ、より充実した指導を進めていきたいと考えています。

引き続き、ことばの教室へのご理解、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

読み書きの力はどのように育つのでしょうか？

子供たちは、周囲の人々とことばやことば以外の手段（視線、しぐさ、表情など）によるやりとりをたくさん経験し、その中でことばの力を発達させます。通常、子供は、就学前までに、日本語の音を聞き分け、自分でも使うことができ、基本的な語彙（3000～10000語とも言われている）と文法の知識を身に付け、場面に合わせたことばの使い方ができ始めます。こうした話しことばの発達の土台の上に、読み書きの習得が始まります。



読み書きに必要な力とは？

読み書きに必要な力の一つに、「音韻認識」があります。音韻認識とは、①ことばの音の粒に気付き（音の数が分かる、音の順序が分かるなど）、②それらの音の粒を操作できる能力のことです。例えば、「りんご」は3つの音からできていることや始めの音は「り」であることが分かること、ことばを逆から言うことができるなどの能力を意味しています。音韻認識の発達は、4歳後半頃から始まるといわれ、この音韻認識が弱いと、読み書きの習得につまずきやすいことが分かっています。

<音韻認識が弱いと…>

- ・しりとりができない。
- ・「でんわ」→「でんま」、「テレビ」→「テベリ」、「エレベーター」→「エベレーター」など、ことばの中の音が他の音に置き換わったり、入れ替わったりするなど。

<音韻の力を伸ばすためのことば遊び>

- ・「○」のつくことばさがし（例：「あ」のつくことば→「あり」、「あひる」、「アイス」）
- ・「○」抜きことば（例：「た」抜きことば「たぬき→ぬき」、「たいこ→いこ」）
- ・反対ことば（例：「いか」→「かい」、「くるま」→「まるく」など）
- ・音の数すごろく（サイコロの代わりに絵カードなどをつかって、ことばの音の数だけ進む）
- ・ことばクイズ（例：「かば」の最後に「ん」をつけると？）（文字を並び替えると？「ごいち」→「いちご」など）

引用・参考文献：「ELC 読み書き困難児のための音読・音韻処理能力簡易スクリーニング検査/加藤 醇子編著」図書文化「特別支援教育をサポートする読み・書き・計算指導事例集/梅田 真理編著」ナツメ社

「LD」ってなに？

「LD」とは、英語の Learning Disabilities (ラーニング・ディスアビリティーズ) の略で、日本では「学習障害」と訳されます。知能全般は正常であっても、「聞く」「話す」「読む」「書く」「計算する」「推論する」の六つの能力の一つ以上の習得や使用に障害がある状態をいいます。

六つの能力に関する障害の一例を以下に紹介します。

☆「聞く」ことの障害 ・会話の内容が理解できない ・文章の聞き取りができない …等	☆「話す」ことの障害 ・文章にまとめて話すことができない ・筋道を立てて話すのが苦手 …等	☆「読む」ことの障害 ・文字を正しく読めない ・間違った発音をする …等
☆「書く」ことの障害 ・漢字のへんとつくりを間違える ・文字を正しく書けない …等	☆「計算する」ことの障害 ・暗算ができない ・数字の位取りが理解できない…等	☆「推論する」ことの障害 ・長文読解が苦手 ・結果の予測、想像が苦手 …等

引用・参考：「親子で理解する LD の本 LD (学習障害) の子どもが困っていること 家庭、勉強、友だち、進学……将来の不安を減らす/宮尾益知」

河出書房新社